# 東大理系



SEGでは学問の魅力を感じながら、楽しく勉強できる



かながき Oなご 金柿 日菜子さん 東京大学理科 I 類1年 (桜蔭高校卒)



うるしはら だいき **漆原 大喜さん** 東京大学理科 II 類1年 (麻布高校卒)



ル林 祐貴さん 東京大学理科Ⅱ類1年 (筑附高校卒)



北城 一憲さん 北城 一憲さん 東京大学理科Ⅱ類1年 (海城高校卒)



おかざき さほ **岡崎 沙帆**さん 東京大学理科 I 類2年 工学部化学システム工学科 進学予定 (鷗友学園高校卒)



表別が たかゆき 森賀 崇行さん 東京大学理科 I 類2年 工学部機械工学科A 進学予定 (学芸大附属高校卒)



森 **健人**さん 東京大学理科 II 類2年 農学部緑地環境学専修 進学予定 (開成高校卒)

#### 受験のためだけでなく学問を楽しめる塾

#### ── 最初に自己紹介を兼ねて、SEGを知った時期と、 入ったきっかけを教えてください。

小林 東京大学理科Ⅱ類の小林祐貴です。筑波大学附属 高校出身です。中学受験が終わった帰り道で、中学高校 向けのいろいろな塾のチラシが配られたのですが、"次は 東大だ"みたいなチラシが多くてイライラしていました。 そこへ "純粋に学問を楽しもう" というスタンスのSEGの チラシが目に飛び込んできて、ここなら行ってみてもいい かなと感じ、中1から通い始めました。

漆原 麻布高校出身で東京大学理科II類の漆原大喜です。SEGの存在を知ったのは、僕も中学入試のときのチラシだと思います。入学後はまったく勉強せず、塾にも通っていませんでしたが、そろそろ塾に行かなくてはと思っていたタイミングで、改めて学校の目の前の電柱にSEGの看板があることに気づきました。通学路の途中で通いやすかったこともあり、中3の夏期講習から通い始めました。評判は聞いていませんでしたが、敷居が低そうな感じがしました。

金柿 東京大学理科 I 類の金柿日菜子です。出身高校は 桜蔭高校です。 S E G を知ったきっかけは、母の勧めで中1の春期講習に参加したことです。他塾も回りましたが、普通の塾は嫌だなと思っていたところ、 S E G は数学の授業が面白く、そのまま入塾することにしました。

北城 海城高校出身で、東京大学理科II類の北城一憲といいます。中学入学と同時に他塾に通い始めましたが、詰め込み的なところが嫌で3週間くらいで辞めてしまいました。何も勉強しないでいたら、母からSEGは詰め込みではないようだと勧められ、試しに英語多読と数学を受講してみました。これなら自分に合っていると感じ、中2の夏期講習から入塾しました。

森賀 東京大学工学部機械工学科に進学予定の森賀崇行です。前期課程は理科I類でした。出身校は東京学芸大学附属高校です。SEGを知ったきっかけは中学受験のときのチラシでした。初等幾何の問題が掲載されていて、

SEGではそんな問題を解くのかと興味を持ち、中1の春期講習から通い始めました。

森 理科II類から、東京大学農学部緑地環境学専修に進 学予定の森健人です。開成高校出身です。先輩方から塾 の情報は流れていましたが、中学の間は行かなくていいと 考えていました。高1の春にそろそろ行こうかなと思ったと き、家族から、読書は好きなのに勉強はしない自分に合 うのではないかと勧められたのがSEGでした。そのまま 高1の春期講習から通い始めました。

岡崎 鷗友学園出身で、理科I類から東京大学工学部化学システム工学科に進学予定の、岡崎沙帆といいます。SEGを知ったきっかけは森賀君と同じで、中学受験が終わったころに母が「面白い問題が載っているチラシがあるよ」と見せてくれたのがSEGのチラシでした。小学校からずっと算数が好きだったこともあり、大学受験のためだけでなく、発展的な内容を扱う数学Extremeというクラスから通い始めました。チラシの問題が解ききれなくて、悔しくて通ったような覚えがあります。

#### 本質に触れる内容で納得できる授業ばかり

### ―― SEGの授業はいかがでしたか。印象に残っている 授業があれば、それも教えてください。

岡崎 SEGは勉強が楽しくなる授業が多いと思います。中学受験で詰め込まれた後は、勉強に対してすごく嫌なイメージがあると思いますが、SEGは、詰め込みや暗記とは無縁で、大学の範囲まで交えながら、関連する事柄のつながりや、背景の理論まで詳しく教えてくださるので、勉強が楽しくなります。例えば、高2からの阿部先生の化学では、通常なら丸暗記する部分を、こういう理由があってこういう順番になっているのだという理論的な理由づけから教えてくださったので、分かりやすかったし覚えやすかったことを覚えています。

森 全体的な印象は岡崎さんと同じで、受験がどうのこうのというより、楽しく学ぶことを大切にしているという 印象があります。開成では高3の春に運動会があるため、 SEGを休みがちでしたが、あるとき、授業が終わる10分前くらいに教室についたところ、先生が「これから1問やるから」と招き入れてくれ、そこから延長授業に突入したことを今でも鮮明に覚えています。そういう寛容さがありがたかったと思います。

森賀 数学の伴先生には本当にお世話になりました。最初からまじめに通っていたわけではありませんが、それぞれの生徒に合わせてくれます。 3時間の授業中、僕がずっと発展問題を解いていても、途中で「その方針では難しいのではないか」とアドバイスしながら見守ってくださっていることもありました。詰め込み型だった小学校までの塾と違って、自分の好きなようにのびのび勉強できるので、勉強を嫌いにならずに続けることができました。また、物理の吉田先生の授業では、問題の解き方ではなく、物理に関する考え方とか、物理学の本質を教えてくれた気がします。現在学んでいる大学の物理学にも通じるものがあったと思います。



## 受験までの私の勉強法 金柿 日菜子さん

科目	得意度指数	学習方法
数学	***	前期はほぼクリーム本の予習・復習だけでした。夏に青本・クリーム本を復習して、基礎が分からない単元をなくして、後期は単元別に『27カ年』を解いたり、テストゼミの復習をしたり、あとは、複素数だけはたくさん解くよう先生に勧めていただいたので、いろいろな問題集から問題を探して解いていました。過去問はまとめて1年分解いたのは年明けからで、5年分程度です。センター対策は年明けにSEGで扱わないデータの分析のところだけ問題集を解いて、あとは3年分過去問を解いただけです。
英語	****	他塾に通っており、その塾の教材を利用して勉強していました。夏休みに入ってからは毎日英語のリスニングをしていました(使っていたのはキムタツシリーズの3冊、東大模試の過去問)。過去問は、10月頃から、各大問ごとに((A)と(B)は分けて)何年分かまとめて遡って解いていました。まとめて1年分解いたのは、本当に直前期に2年分程度です。センターは2年分過去問を解いただけです。
物理	***	『名問の森』を夏休みまでに何周かしました(2周目以降はできなかった問題だけ、というやり方です)。あとはSEGの授業のための予習をメインにしていました。テストゼミが始まってからは単元別に『27カ年』を主に解いていました。過去問をまとめて1年分(化学と合わせて)解いたのは、これも年明けからで7年分程度です。物理だけで解くことはしていませんでした。
化学	***	基本的にSEGのテキストだけ解いていました。夏休みに無機・有機の覚えていないとどうしようもない部分についてはチェックシートなどで確認しました。テストゼミが始まってからはテストゼミの復習に加えて軽く『27カ年』を解いたりもしていました。センターに関しては、3年間コースで一通り習い終わった高2の夏から定期的に過去問を解いていたのですが、直前期にさらに重点的に過去問を解きました。
国語	***	高3から他塾に通い、基本的にその塾のテキストをやっていました。学校で使用していた『Look@古文単語337』という単語帳を使いました。過去問はセンターは11月頃から20年分程、2次は12月終わりから7年分解きました。
倫理・ 政治経済	****	高校の授業で基本的には勉強しました。問題集として、駿台の黄緑色のものを使用して、覚えきれていない部分について確認しました。過去問は12月から20年分程解きました。



北城 高校範囲にとらわれず、本質まで教えてくれるため、納得したうえで理解できる授業が多いのがSEGの特色です。とりわけ印象深かったのが、高1のときの数学の授業です。微分について、学校では限りなくゼロに近づけるといった曖昧な説明しかされないのですが、授業の1時間くらいを使って $\Gamma$   $\epsilon$   $\delta$  論法」を使って解説してくださり、限りなくゼロに近づけるということが腑に落ちました。

金柿 腑に落ちるという意味では、伴先生の数学の授業が思い出されます。中2で確率を勉強したとき、小さなサイコロが全員に配られ、100回くらい振ってデータを取り、本当に6分の1になるかを検証したことがあります。単に6分の1だと教えるだけでなく、実際に6分の1に近づくという体験を経ることで、実感として確率を納得することができました。このほか、棒を使って正四面体の展開図を全種類作ったこともあります。中学段階の数学では、こうして自分でやってみる体験を通して、深い理解につなげてくれているのだと思います。吉久先生の化学でも、元素の周期表をはさみで切り取って、丸くつなげて王冠を作る授業がありました。王冠を作ること自体は、本質とは関係ありませんが、周期表の見方や並び順を理解するのにとても役立ちました。

漆原 SEGの先生方は、ご自身が教えている学問が大好きで、その好きでたまらないことを伝えてくれているという一面があると思います。特に中3の岡本先生の夏期講習では、数学ってこんなに楽しめるのかと強い衝撃を受けました。その影響で、チャレンジ問題を1ヵ月くらい考え続けたこともありましたが、解けたときの喜びは大きかったです。化学の吉久先生も化学への愛があふれていて、どんなに学

校行事で遅くなっても、その授業だけはサボりたくない、 絶対に行きたいと思えるような授業でした。

小林 多くの人は高3から、コースによっては僕も含めて高2から始まる英語の精読パートの授業が、非常に役立ったと思います。多読が有名なSEGでは影が薄い存在だと思われがちですが、担当してくださった渡辺卓先生はとても見識の広い方で、英語で論説文を読んだ後に、関連するテーマや、社会で問題になっている事柄、自然科学で興味深い事象などを幅広く教えてくださいました。話される内容は当の論説文から離れてはいるものの、過去問を解くときに役立ったり、大学で英語の文章を読むときに当時解説してくださった単語や概念などに出会ったりと、影が薄いどころか、十分に存在感のある授業だということをお伝えしたいと思います(笑)。

#### 楽しく学ぶうちに 学問に向き合う姿勢が身についた

# — SEGに通って良かったと感じることはありますか。

小林 勉強の本質は、知識を叩き込むことではなく、説明できるようになることだと分かったことです。 SEGで化学や物理を学んでいると、基本的なことは覚えるものの、基本的な考え方を教えてくださるので、あとは何とか説明できるようになります。覚えるのではなく、説明することが勝負なのだという、学問に向き合う姿勢を身につけることができました。

漆原 同感です。大学で授業を受けていると、SEGで習った基本的なことを単に難しそうに語っているような気がしたり、その説明は少し議論が足りないのではないかと思えたりして、SEGのおかげで学問に対する考え方がしっかり身についたのではないかと思っています。

金柿 中高6年間ずっと通っていましたが、まったく大変ではなかったし、勉強も全然嫌いにならず、むしろ楽しかったという印象で6年間の勉強を終えられたのはSEGのおかげだと思っています。また、最初は文系に行くつもりで

したが、高1のときに化学の説明会に行ったところ、吉久 先生の話が面白すぎて、化学を入試で使えたらいいなと いうノリで理系に変えたほどです。私が理系へ進んだの は本当にSEGのおかげです。

北城 みなさんと同じで、楽しく勉強できたのが一番良かったと思っています。詰め込みではなく、一問一問に時間をかけて取り組んだ経験は、大学に入ってからもとても役立っています。本当に楽しく勉強できる塾だと思います。森賀 確かに、たくさん暗記したりするつらさがありません。楽しく授業を受けているうちに、気づいたらいろいろな問題が解けるようになっているといった感じです。勉強が楽しくないと感じる人や、数学をつまらないと思っている人には、ぜひSEGを勧めたいですね。数学や物理の話ができる友人がいたことも良かった点の一つです。学校では、難しい数学の問題について話せる友人はいないため、意識の高い友人が周りにいることは、SEGの大きな魅力だと思います。

森 英語多読の授業を受けたことで、英語の文章を読む 際の心理的なハードルが下がったと思っています。大学 に入ると論文をたくさん読まされますが、中高の間にあれ だけ読んでいるのだから、論文だろうが、専門的な単語 があろうが、何とか読めるだろうという気になります。英 語の論文というだけで拒否反応を起こす友人もいる中で、 多読のメリットを再認識しています。

岡崎 学問を楽しいと思っている友人がSEGにいることは大きいと思います。数学Extremeは10人に満たないクラスでしたが、その中で仲の良かった友人は全員東大に進んでいますし、数学で切磋琢磨した仲間との絆は大学に入っても続いています。

#### 学部を決める時期を先延ばしできる東大

―― 先ほど金柿さんからSEGの授業で理系に決めたというお話がありましたが、他のみなさんはいつ、どのように理系に決めたのですか。

森賀 小学生のころから、国語も社会も理科もだめで、

算数だけが好きだったので、理系に行くことはほぼ既定路線でした。だからこそ、SEGのパンフの問題に惹かれたわけですし、高2での文理分けのときに理系で迷うことはありませんでした。

森 僕はけっこう迷っていました。ただ、最終的には生物 を勉強したいという気持ちが強く、文理分けを学校に申し 出るその日に理系に決めました。

岡崎 森賀君と同じく小学生のころから算数や理科が好きで、SEGで理系科目の楽しさを再確認したのもあり、自然と理系に進みました。

小林 高1からSEGの化学に通い、初めて理科の苦手感が払拭され始めたときに、どういうわけか世界史に興味を持ち始めて世界史ばかり勉強するようになり、高2になったときには化学か世界史を選ばなくてはならなくなりました(笑)。そこで物理に目を向けると、熱力学の分野が化学と似ていると思い、吉田先生の授業を受けたところ物理も面白かったので、理系に決めました。その時点から日本史を始めて文系に行く道もあったのですが、目の前に物理があったので理系に進んだというわけです。



漆原 家族も理系で、物心ついたころから理系に行くのだろうと思っていました。しっかり決めていたわけではありませんが、算数とか理科が好きで、やり続けていくうちに文系という選択肢がなくなっていました。理系を選んだというより、文系が選べずに理系になったという感じです。

北城 親は文系でしたが、親戚に理系が多く、親戚が集まるとピペットが話題になったり(笑)、この実験ではどのピペットが良いかについて話していたり(笑)、といった環境でした。自分も理系科目が嫌いではなかったため、小学生くらいから理系に行くような雰囲気でした。

# 東大を志望校にしたのはどんなタイミングだったのですか。

北城 もともと東大に行きたい気持ちはあったのですが、 最後の最後まで、医学部にするか東大理系にするか迷っ ていたため、合格が決まってから考えることにしました。 結局、医学部と東大理科Ⅱ類に受かったのですが、検体 や解剖をしたくなくて、東大に決めました。

金柿 周りの環境もあって、東大を意識し始めたのは中学に入ってすぐのことです。高1のときに文理で迷ったこともあり、進学選択がある東大を志望することにしました。文系なら経済系に行きたいと思っていましたが、東大なら理系で入っても経済に行けるので、決定を大学まで延ばそうと思いました。類に関しては、生物が好きではなかったため理1にしました。

漆原 中学まではまったく東大を意識していませんでした。中3でSEGの数学を受講し、高1で化学、高2で物理を追加したのは単に好きだからという理由で、受験をまったく意識せず勉強していました。模試も高2のセンター



同日模試まで、一度も受けたことがありませんでした。ただ、その模試の英語が81点だったため、英語を勉強しないまま東工大を志望することも考えましたが、吉久先生に「東大にしないのはもったいないよ、余裕よ」と励まされ、その時点で東大に決めました。そのタイミングで高3から英語の塾に通い始めました。

小林 高2で、化学か世界史を選ばなければならなくなったとき、たとえ理系に行ったとしても、大学でまったく歴史から離れてしまいたくないという気持ちが強くありました。ですから、その時点で東工大は選択肢から消え、選択肢を幅広く残しておくという意味で、進学選択制度のある東大を志望しました。

岡崎 理系の勉強がしっかりできそうな大学という意味で、私も東大と東工大で悩みました。ただ、学部を選ぶ段階で、どうしても東工大で学部を選び切れませんでした。高3の夏くらいには、いろいろな学問に触れてから自分の専門を選べる進学選択制度のある東大に絞りました。

森 東大を目指す人が多い高校でしたが、優柔不断な自分は高3になっても学部を選べないだろうと感じていたため、受験の段階で学部を選ばなくてもいいという消極的な理由で、高2で東大に決めました。秋の模試までずっと理Iでしたが、実は迷っていて、センター出願前に本当に理Iでいいのかと自問したところ、根拠があったわけではないが、生物系への興味を尊重するのであれば理IIかなということで、最終的に理IIにしました。

森賀 中学くらいまでは受かるところに行くのだろうと気軽に考えていましたが、親がずっと東大に入れさせるために塾に通わせてくれていたことから、東大を意識するようになりました。高2で東大の物性研究所にお邪魔して最先端の機械や装置を見せてもらったことも影響して、将来、大学に残るにせよ、就職するにせよ工学の分野に進むなら理科I類であれば問題ないと思い出願しました。

#### テストゼミによって受験対応力がついた

SEGは、受験のためだけの塾ではないとのことで

#### すが、受験でSEGが役立ったことはありましたか。

森賀 高3の物理のテストゼミです。非常に実戦的で、入 試問題ではどんな問題から解いていくべきか、どんな風に 点数をかき集めていくべきなのかといった基本的なパター ンを教えていただけたことがとても役立ちました。数学の 青木先生との面談でも、今の実力と志望校のレベルを考 えて、本番でどれくらい点数を取ればいいのか、そのため にどれくらい勉強すればいいかを、詳しく教えていただき ました。そういう部分で、SEGは受験指導もきちんとし ているんだなと感じています。

森 点数に直結したのは、何と言っても英語の直前講習でした。直前講習で読んだ文章が、実際に受けた東大の最後の長文とまったく同じ文章だったため、「あ、俺、知ってる」と思い(笑)、そこからはルンルン気分でした。

岡崎 森賀君が話してくれたように、ほとんどの科目でテストゼミをやってくださっていて、この種の問題は苦手なら捨てるべきだとか、こういう問題なら解きやすいとかを教えてくださいます。入試では全問解くことは重要ではないため、細切れでも点数を取っていく方法をテストゼミで教えてもらえたことは本当に役立ちました。特に化学の阿部先生は、高3のテストゼミの結果をすべてデータ化して、40人の生徒一人ひとりに、どの分野が苦手だから、どんな勉強をすればいいかを、5ページくらいの冊子にまとめ

てくださいました。これは、その後の化学の勉強に非常に 効果的でした。

小林 英語多読の精読パートの渡辺卓先生には本当に感謝しています。英作文の指導では、文法の間違いは当然 指摘してくださいますが、論理展開のおかしな部分もしっ かり見てくださっていて、自分では気づきにくい英語のエ



## 受験までの私の勉強法 漆原 大喜さん

科目	得意度指数	学習方法
数学	***	夏まではクリーム本や講習「東大図形数学」の予復習と並行して『スタンダード演習』「やさしい理系数学』「新数学演習」 などを2~3周しました。秋からはテストゼミの復習に加えて東大模試の過去問を週1で解きました。本試の過去問は センター後から始めて10年分程解きました。
英語	*	主に他塾の教材を音読してました。 2次の過去間は時間の無駄だと思ったので着手しませんでしたが選択肢の分布は 10年程に渡って研究しました。
物理	****	物理Hのテキストの復習と『難問題の系統とその解き方』の例題をひたすらしました。過去問は秋からやりました。
化学	****	SEGのテキストと過去問のみです。季節講習の東大対策講座を繰り返し復習しました。物理と同じく過去問は秋からやりました。
国語	*	漢文は『漢文ヤマのヤマ』を夏にやり、古文は単語帳を冬から始めてセンターの過去問は赤本全部解きました。 2次 の過去問は着手しませんでした。苦手だった現代文は字を綺麗に書くようにしてました。
地理	***	『村瀬のゼロからわかる地理B』を秋から読み始めました。冬休みに入ったあたりで過去問に取り掛かり、センター本試追試パック等合わせて30年分程解きました。



ラーを指摘して正してくださいました。これが英語の成績 に直結したと思っています。

漆原 僕もテストゼミですね。どんな順で解くとか、どこに注目するとか、2通りの解法で解くとか、さまざまな受験対応力を身につけることができました。本番でも、2通りの方法で解き、大問をしっかり取れたと思います。物理のテストゼミは受験直前に物理の本質を叩きつけられるような内容で、物理をもっと勉強しなければならないという思いを強くしてもらったという意味で役立ちました。

金柿 確かに物理のテストゼミは、難しすぎました。今年の東大の物理は難しかったとの評判ですが、吉田先生のテストゼミと比べたら簡単で(笑)、心のハードルを下げるという意味で役立ったと思います。ほかに受験に役立ったという意味では、高3の夏と冬に行われた佐々F先生の季節講習「東大物理演習」が印象深いです。SEGの授業は数式を多用して本質を突く授業が魅力ですが、この授業に関しては、高校レベルの数学の考え方で問題が解けることを示してくださいました。こんな解き方があるのかと、受験前に物理のハードルがさらに下がりました。

北城 みんなが言うように受験勉強については、テストゼミが一番ですね。僕は、問題は上から順番に解いていくのが普通だと思っていたのですが、夏期講習の数学で初めてテストゼミを受けたとき、木村浩二先生から「まさか安直に上から順に解き始めた人はいないと思うけど」と指摘され(笑)、最初に全問目を通してから解き始めるということから、点数の取り方を学んでいきました。化学では吉久先生のテストゼミを通して、東大の問題なら最初の40分で有機化学だけを満点にするという自分なりの実戦的な解き方をマスターできたことも、大いに役立ちました。

岡崎 SEGでは、本質を追求する授業はずっと続いていくのですが、受験に対応する授業も展開されるということです。

#### 受験勉強を通して多くのことを学んだ

#### 一 受験勉強を通して、得たものはありますか。

岡崎 受験では苦手科目も勉強しなければなりません。 12月のセンタープレテストで社会が50点だったにもかかわらず、やるのが嫌で先延ばしにしていましたが、ようやく正月からは薄い問題集をしっかりやって何とか間に合わせました。嫌いなものでもやらなければならないときに、ちゃんと向き合うということができたのは、たぶん大学受験が最初だと思います。

小林 高1の化学で学ぶ理論化学は、その後の無機や有機にも活きてきます。その基礎を疎かにしていると、致命的になってしまいます。僕は何とか頑張って立て直したため挽回できましたが、模試の見直しも含めて、サボると必ずツケが回ってくるということを実感しました。

漆原 基本的にはダラダラやっていましたが、高3の夏休 みは15日くらい毎日15~6時間くらい勉強しました。本気 でやらなければならないときはできるんだという、ちょっ とした自信を得られました。

金柿 受験勉強でというわけではありませんが、SEGのおかげで勉強は基本的に楽しいものだ、つらくはないのだということを、受験期間を通して感じられました。今でも

ずっと、「勉強って楽しい」と思っています。

北城 とはいっても、やはり勉強したくないし、模試を受けると順位とか判定がきて、ストレスがかかることもあります。 それに耐えたことで、精神力が身についたと思っています。

## ―― 受験を乗り切るうえで支えになったようなものはありますか。

岡崎 国語が最後まで苦手だったので、東工大にと揺れたこともありましたが、SEGの友人は東大を目指す人が多かったので、それが一つの支えになりました。また、化学の阿部先生があれだけのプリントを作ってくださったのに、志望校を下げたとか、不合格だったとは言えないと思ったことも、後押しになったかなと思います。

北城 アリス・モース・アールという人が残した言葉 に、"Yesterday is history. Tomorrow is a mystery. Today is a gift. That's why it's called the present."



## 受験までの私の勉強法 小林 祐貴さん

科目	得意度指数	学習方法
数学	**	基本的にはクリーム本、たまに青本を使って勉強(自分で模範解答を作って実際のそれと比較検討)しました。過去問については12月頃までは比較的古い年度のものを問題集として解き、その後は東大模試の問題や最近の過去問を時間を測って演習しました。センターに関しては、計算が得意ではないので恥を忍んで有用な公式を頭に叩き込みつつ、できるだけ多くの過去問に取り組みました。
英語	***	読解とリスニング、英作文についてはSEGの授業や多読にほとんど任せる形にし、不安があった語彙文法を自習しました。語彙は「ターゲット」の公式アプリ、文法はSEGで配布された参考書兼問題集を読み込みました。センター・2次共にそれほど過去問はやりませんでしたが、時間配分を調整するために試験2週間前くらいから集中的に3~4年分取り組みました。
物理	***	春から夏にかけてはSEGの予習と併行して『名間の森』をちまちまと解いていました。秋以降から『25カ年』に切り替え、また11月後半から化学と共に東大模試の問題を時間を測って解きました。この時期に最も伸びたと思います。センター試験については化学同様に特別な対策はしませんでした。センター以降、最近年の過去問に取り組みました。
化学	***	春から夏にかけてはSEGの授業が理論化学の演習だったので、主に無機有機の知識の詰め直しを重点的に行いました。 他の科目に比べるとそれなりの自信があったので、秋の早いうちから『25カ年』や東大模試に手を出したりしました。以降、 物理の習熟度が一定に達する時期を見計らって同時に解く練習をしました。センター試験については、夏までの段階で 基礎事項の確認込みでかなりやり込んでいたので、直前期は放置ぎみでした。
国語	**	折に触れて『漢文ヤマのヤマ』「富井の古典文法をはじめからていねいに』「読んで見て覚える古文単語315』の3冊を読み込んでいました。センター対策はひたすら過去問演習と間違いの原因確認・知識不足への対処の繰り返しでした。センター以降、2次の過去問を『25カ年』「27カ年』で問題集的に演習しました。模試での経験から時間が余ってしまうのは明らか(高得点が取れるという意味ではない)だったので、時間を測っての過去間演習は数度のみです。
世界史	***	基本的には気が向いた(理系科目に疲れた)ときに『一問一答』や『詳説世界史研究』を読み込む程度でした。センター 試験の問題はすぐに解き終わってしまうので、合間の時間に休憩がてら演習していました。細かい知識にはやや不安が あったので、試験3日前からアフリカ・東南アジア・ラテンアメリカのような記憶が曖昧になりがちな地域の歴史をまと める取り組みをしました。



というのがあります。遊んでしまった昨日は歴史なので変えられないし、明日も分からないけど、両親からも先生からも支えられて生きている今日は頑張ろうと、この言葉が 直前期の大きな支えになりました。

森 古川先生とよく話す機会がありましたが、そのたびに 「森君は大丈夫なんじゃないですか」と仰っていただいて いたので、それがけっこう心強かったですね(笑)。

#### 興味あるサークルや授業に打ち込む日々

#### ── 大学生活について聞かせてください。

小林 襖クラブに入りたかったのですが、入部試験に落ちてしまいました(笑)。授業に関しては、他大の一般教養にあたる総合科目は、先生の専門に関わる内容のため、熱が入って楽しい科目が多く、歴史も化学も半々くらいで取っています。特に面白いのが「中央ユーラシアの歴史」です。印象が薄い地域のように思えますが、実はこの地域に住んでいる人たちが歴史を動かしていたと捉えること

もできるという、新たな視座が得られて良かったと思って います。

漆原 アルティメットというフリスビーのスポーツサークルに入っています。数学や理科に関する授業はちゃんと出ていますが、語学に関しては出たり出なかったり……。授業に出るのも効率が悪いかなと思って、自分で勉強しています。大学に入って興味が湧いたのが地学で、特に気候に惹かれています。化学と物理、生物が融合したような分野で、大気の組成が作られた過程をひもとくスケールの大きな話です。現在取っている「地球惑星環境学入門」は、大学に入って一番面白い授業です。その影響で、なるつもりはありませんが、気象予報士の勉強も始めています。

金柿 サークルはESSに入っています。Drama, Speech, Discussion, Debate, Guideの5セクションに分かれて

いて、私は主に英語劇を上演するDramaセクションに所属しています。授業に関しては、文系理系問わず、シラバスを読んで興味が湧いた授業を履修しています。まったく異なる学問をいろいろ学べることが、とても楽しいです。北城 インカレテニスサークル・エルピラータに入っています。出欠を問わず、自由に参加できるのですが、僕はテニスが大好きなので、サークル全員で参加する練習はもちろん、自分たちでも自主的に練習をしています。とことん突き詰められる点もサークルのいいところだと思っています。授業の方は、脳科学に興味があったのですが、これを突き詰めると人間に意志はあるのかといった哲学的なところにたどり着くため、自分の興味と違うと感じるなど、いろいろ発見があって面白いと思っています。

森賀 僕もトマトというテニスサークルに入っています。インカレではなく、東大生だけですが。1年次のうちは夏の間は毎日テニス漬けという感じでした。本当にサークルばかり頑張っていました。必修以外で「美術論」を取ったのですが、2回履修して、2回も落としてしまったので、適性がないんだなと思っています(笑)。

森 サークルはAIESECという学生団体に入っています。 126の国と地域に支部を持っていて、若い人を対象にした 海外インターンシップの運営をしている団体です。僕自身 も、今年の夏はインドネシアに6週間、インターンシップ に行っていました。授業について言えば文系理系織りまぜて科目を履修していますが、駒場で一番印象深かったのは、フランス語のTLP(トライリンガル・プログラム)でした。入試時の英語の点数の高い人が第二外国語を集中的に学べるクラスで、まったく分からないフランス語でずっと授業を受けていました。ある程度話せるようになりましたが、半期だけだったため、今ではほとんど忘れてしまいました。岡崎 科学実験を子どもたちの前で見せるCASTというサークルに入っており、各地の小学校や科学館から依頼を受けて、実験教室とかサイエンスショーをやっています。理科が好きで、子どもたちにも理科は楽しいっていう思いを持ってもらいたいので、そこに貢献できることに充実感を覚えています。中高にはなかったプログラミングの授業も楽しんでいます。

#### 希望の学科に進むには入学後の勉強が不可欠

## ―― 2年生の方は、進学する学部が決まっているようですが、どのように決めたのですか。

岡崎 SEGの化学を受けたことで、化学が大好きになっていたので受験の時点では化学系のどこかに進みたいと思っていましたが、入学後は、理学部の化学系か、工学部の化学系かで迷いました。理学部だと基礎研究が中心ですが、工学部なら実社会に近いものづくりや、プログラミングを使った分析などができます。基礎研究よりは実社会に近い方がいいので、工学部の化学系を選びました。

森 入学当初は、生物系に行きたいということくらいしか 決めていませんでした。各研究室の説明会に行き、研究 内容を聞いていくうちに、細胞や遺伝子といったような小 さな世界ではなく、個体とか生態系といった大きなスケー ルの話の方にワクワクする自分がいることに気づきました。 そういう研究ができる研究室は農学部の中で2~3ありま したが、最終的には、生態系と人との関わりや街づくり、 町の中の緑地などを扱う緑地環境学を選びました。

森賀 理学部か工学部かという選択は、大学に入ってもう 少し勉強してから決めようと思い、結局、工学を選択しま



した。ただ、将来の展望がしっかり決まっていなかったこともあって、最初は電気系に進もうと思ったのですが、成績で撥ねられてしまいました。そこで、自分のやりたいこととそんなに離れていない機械工学科にしました。ですから、東大でやりたい方面の勉強をしたいと思ったら、入学後もちゃんと勉強しないとだめだということを痛感しました。

## ―― 1年生の方は、どんな方面を希望しているのかお聞かせください。

北城 受験期は理学部の化学かなと思っていましたが、 大学に入学して改めて考えてみると、自分の進みたい道が おぼろげながら分かってきました。例えば川が汚染された としたら、理学ならその原因追求に向かうし、工学ならそ れを解決する方法の開発に向かいます。僕自身は直接的 な問題解決に興味があることが分かったため、現時点で は製薬系か、親戚の多い工学部の化学系など、直接人の 役に立つ方面に進みたいと思っています。

金柿 文転するつもりはありませんが、経済にも興味が 残っているため、受験直前に見つけた工学部システム創成 学科に進みたいと思っています。経営工学という分野で、 経済・経営系の科目と共にプログラミングを学んで、シス テム的なことをまとめて勉強するような印象があります。 そんなに詳しくはありませんが、ここだと経済学部の授業 も取れるため、理系的なセンスで経営を考えていくのも面 白そうだと思っています。

漆原 高校時代は化学をやりたいと思っていましたが、現

在は本当に地学に興味が湧いていて、今受けている授業 の先生のいる学部に行ってみたいと思っています。第二希 望なら、工学部の化学系の学科です。さらに、楽器として の体という概念を用いた発声方法の授業も興味深いため、

北城 一憲さん

受験までの私の勉強法

スポーツ科学系も視野に入れています。正直、まだ絞りき れていませんが、それだけワクワクする授業が多いという ことだと思います。

小林 僕もどんどん興味が拡散しており、まったく決まっ

- 繰り返し使っていたテキスト・問題集とその活用方法は?
  - ② 過去問はいつ頃から何年分くらい解いた?

  - ③ センター対策としてしたことは? ④ SEGの授業の予習・復習の仕方は?
  - ⑤ 学力が伸びたと手応えのあった時期とその勉強方法は?

		⑤ 字刀が伸びたと手心えのあった時期とその勉強方法は?
科目	得意度指数	学習方法
数学	**	<ul> <li>①クリーム本:授業後ノートを見返し、その後少し間をあけてから解き直しをした。解けなかった問題はまた少し間をあけて解けるまで解き直した。</li> <li>②センター後2年分。</li> <li>③過去問。学校で受けたマーク模試で出題形式等は分かっていたので、直前に過去問を解いただけだった。</li> <li>③予習ノートを木村浩二先生が添削してくださったので答が出ていなくても考えたことをしっかりと記述するようにした。</li> <li>⑤9月からのテストゼミ:夏期講習のテストゼミでは成績は下位だったが、青本やクリーム本、夏期講習のテキストを繰り返し解き直したり、ノートを見返したりしたら9月以降のテストゼミでは上位に入れるようになった。</li> </ul>
英語	***	<ul> <li>①何も使っていない:学校等で扱った長文を繰り返し音読、シャドーイングした。単語も長文に出てきた単語を逐一覚えた。</li> <li>②センター後2年分。</li> <li>③過去問。数学と同じ。</li> <li>③冬期講習頃:それまでは要約問題も要約以前に英語が読めていなかったが、冬期講習の頃には英語力が上がり文章の内容も理解できるようになった。</li> </ul>
物理	***	<ul> <li>●SEGの演習テキスト:数学と同じように、繰り返し解き直した。</li> <li>②センター後2年分。</li> <li>③過去問。数学や英語などはセンターの直前にやったが、物化は吉久先生がセンターは知識の確認になるからと仰っていたので10月頃から解き始め、間違えた問題の分野は講義ノートに戻って復習した。</li> <li>③問題が解けなくても納得いくまで考えるようにし、まったく手がつかなかった問題は講義ノートに戻って基礎を確認してから授業に臨んだ。復習は数学と同じ。</li> <li>⑤テストゼミ:初めの方の出来は散々だったが、テストゼミの問題も同じように復習したら、後半の方では上位に入るくらい点数が上がった。</li> </ul>
化学	***	<ul> <li>SEGの演習テキスト:数学と同じように、繰り返し解き直した。</li> <li>センター後2年分。</li> <li>過去問。物理と同じ。</li> <li>物理よりは予習段階で問題が解けたが、何となくだったり、本質までは理解していないのも多々あったので、復習では問題の本質を意識しながらノートの見返し、解き直しをした。</li> <li>テストゼミ:他の教科と同じようにしっかり復習をしたら点が伸びた。</li> </ul>
国語	****	<ul> <li>①何も使っていない:学校等で扱った文章で記述問題はどこが読み取れていなかったか、表現できていなかったかを記号問題は正解でない選択肢はどこが誤りなのかということを中心に復習した。</li> <li>②センター後2年分。</li> <li>③過去問。センターは東大2次と違って時間配分に気をつけないといけなかったので、数学や英語よりは多めに解いた。また、古典は東大2次の古典の「読める率」を上げる多読演習にちょうど良かったので、現代文よりも多めに解いた。また、古典は東大2次の古典の「読める率」を上げる多読演習にちょうど良かったので、現代文よりも多めに解いた。</li> <li>⑤センター後の過去問演習:過去問を他塾の先生に採点してもらったが、50点前後が安定したので、手ごたえを感じた。古文単語も英単語と同じように長文に出てきたものを逐一語源から覚えるようにし、セットやシリーズのものも逐一確認した。</li> </ul>
倫理・ 政治経済	*	<ul><li>①学校の教科書:とりあえず一読し、問題演習をして間違えたところはもう一度読んだ。</li><li>②年明け頃から5年分。</li><li>③学校で配られた問題を解いた。あとはひたすら過去問を解いた。</li><li>⑤過去問演習で得点が上がった。演習、教科書を読むを繰り返した。</li></ul>

ていません。化学系の授業でラヴォアジエとかアボガドロの名前が出てくると、彼らが科学者足り得た社会背景を考えるし(笑)、それを調べ始めると、当時の経済にも興味が発展し(笑)、さらに経済ならその理論の根幹である数学もやらなければと思ったりして(笑)、終わりなき思考のループに入り込んでしまいます。そういうことを考えると、自分は何かを深く蛸壺的にやるのではなく、学際的な視点をもって取り組みたいということが分かってきたため、そういう学科を探している最中です。

#### 専門性を高めたいし留学も経験したい

# ―― 将来の目標をお聞かせください。また、在学中にやってみたいことがあれば、それも教えてください。

森 今、1年生の人たちの話を聞いていて、実は、僕も2年生の春の時点では、心理系、脳科学系、文化人類学系をわりと真剣に考えて迷走していました。悩んで当然で、迷走する時期があってもいいと思います。将来の職業に関しては明確なイメージがあるわけではありませんが、専門性を武器にしたいので、とりあえず修士までは行きたいと考えています。できれば、この分野のことなら僕に聞けばいいというレベルになりたいと思っています。

岡崎 化学系に進んだので、化学系で何かできたらいいなという漠然としたイメージしかありません。ただ、サークルで子どもに理科の楽しさを教える喜びを味わったので、教職の単位も取り始めました。SEGでは勉強はつまらないものではなく、楽しいものだということを教わり、それをサークルの活動を通して伝えられているので、理科を楽しく教えられる先生になるというのも、選択肢の一つとしてありかなと思っています。

小林 中途半端な人間なので、何かのスペシャリストになるのは難しいのではないかと薄々感じています。例えば自分が数学が100しかできないとしたら、周りに数学が200できる人がいたとき、だったら自分は化学も100、歴史も100、経済も100といったようにできることを広げていけばいいのではないかということを考えています。ざっくりい



えば、教養人になろうというのが今の目標です。

漆原 これまでの人生を大きく変えたくないので、あまり嫌いなことをやりたくないと思っています(笑)。自分の好きなことを死ぬまでやりたいと思っていますが、大学では、もう少し英語を頑張ってみようかなと思い始めています。 母親から留学を勧められていますが、僕自身はまだ決心できていないです(笑)。

金柿 ESSに入っていると、留学した人から世界観が変わったと聞くことが多いため、私も在学中に一回は留学をしてみたいと思っています。まだ自分が何をやりたいのか決め切れていないこともあり、価値観が変わるような体験をしてみたいと思っています。ただ、いつ行くかも含めてまだ決めていませんし、後期課程で何をやるのかも、まだ決めていません。

北城 営業職よりは研究職系がいいなという程度で漠然 としており、企業に入るか、大学に残るかもまったく未定 です。ただ、せっかく理系の科目を勉強しているので、そ ういう系統の職業に就きたいという思いだけはあります。

#### 学ぶ楽しさを教えてくれるSEG

―― 最後に、塾選びで迷っている人、SEGを検討中の 人に向けて、メッセージをいただけますか。

岡崎 勉強がつまらないと思っているなら、SEGは一回 通ってみてもいいと思います。先生方がその教科を面白い と思っており、その面白さを何とか伝えようとしてくださっ ているので、学問の魅力を感じながら、楽しみながら勉 強できる塾だと思います。

金柿 受けて絶対損はない授業なので、とりあえず一回は受けるべきです(笑)。どの先生も違う方法で、学ぶ楽しさを教えてくれますから、一人の先生の授業を受けて、また違う先生で同じ科目の授業を受けると、全然違う魅力を感じることができます。きっと自分に合う先生が見つかるし、見つかったときは本当に楽しいので、ぜひ自分に合う先生を見つけていただいて、楽しく勉強してください。小林 SEGの勉強の楽しさの根源は、見える世界が広がることにあると思っています。例えば、多読ならこれまで使ったことのない言語で新しいことを学べますし、化学なら身の周りにある現象を新しい概念で説明できるようになります。見えるものがどんどん広がっていくのです。入試

に合格するだけなら、他の塾でも可能かもしれませんが、 自分の世界が広がる楽しさを一番味わえるのは、そして、 それができるように授業が工夫されているのはSEGだと 思います。

北城 同じく、ただ受験勉強するだけの塾じゃないよということは伝えたいと思います。いろいろな物事の本質を学ぶことで、受験でも役立つことがあるし、大学に入学してからも役立つこともありますから。

森 正直に言って、効率よく最短距離で合格したいという人には向かない塾だと思います。楽しく勉強できて、大学に入ってからや、専門領域に入ってからも役立つことを身につけたい、そういう受験生活を送りたいという人にSEGは合うのではないかと思っています。

漆原 僕のように勉強ができなくて、勉強に対するマイナスのイメージしかないような人でも、SEGに入ると、勉強のイメージを確実に変えてくれると思います。

森賀 他塾にも優秀な先生がいると思いますが、SEG の先生方はみなレベルが高く、どの先生からも他の人が 言っているように学問への愛を感じます。生徒のやる気を出させる力とか、勉強を好きにさせる力も持っており、SEGのどの先生の授業を受けても不満を感じたことはなかったので、ぜひお勧めしたいと思います。

